

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書**地域密着型サービスの外部評価項目構成**

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

項目数

11

2

1

3

3

2

2

1

1

6

1

2

1

2

11

9

2

合計 30

事業所番号	4677100119
法人名	有限会社 ジェーケイエール
事業所名	グループホーム ねむの樹
訪問調査日	平成20年2月13日
評価確定日	平成20年5月8日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 2月26日

【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県第4677100119		
法人名	有限会社 ジェーケイエル		
事業所名	グループホーム ねむの樹		
所在地	鹿児島県鹿屋市串良町有里6284-1 (電話)0994-62-8030		
評価機関名	特定非営利活動法人 NPOさつま		
所在地	鹿児島県下荒田2丁目48番13号		
訪問調査日	平成20年2月13日	評価確定日	平成20年5月8日

【情報提供票より】(20年1月20日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 14年 3月 25日		
職員数	15 人	常勤 11人, 非常勤 4人, 常勤換算 12.5人	

(2)建物概要

建物構造	鉄筋木造造り		
	1階建ての	階 ~	1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

宿泊費(1泊)	5,000円(1号棟)	12,000円(2号棟)	その他の経費月額	1日 250円
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
その他日常生活において必要な費用	または1日 850円			

(4)登録者の概要

登録人数	14名	男性	5名	女性	9名	
要介護1	6名	要介護2			2名	
要介護3	4名	要介護4			2名	
要介護5	名					
要支援1	名	要支援2			名	
年齢	平均	80歳	最低	60歳	最高	93歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人青仁会 池田病院(内科・歯科)
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域的に四季を満喫できる閑静な地に建てられているホームである。敷地内に七面鳥や烏骨鶏、犬が飼われている。ホームの周囲全体は利用者の散歩や犬の世話等に危険がないように配慮されている。事故により自身が障害者となりケアサービスの重要性を認識した運営者を中心に、あくまでも利用者、家族等を第一に考えたケアサービスに取り組んでいる。低料金の提供と職員数が多く配置されているため、職員に余裕があり、ゆったりと利用者に関わり、信頼関係を構築している。街の中にあるホームではないが、周辺地域の人々との触れ合いの場として物産館を開店するなど工夫を凝らしている。また、婦人会、高校生、自衛隊、保育園児のボランティア等地域の多方面の人々との交流が盛んに行われて、まさに地域密着型サービスを実践しているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	理念は掲示され、パンフレット、説明書にも明記されている。玄関の配慮は下駄箱の配置など工夫している。緊急時の手当ての勉強会を継続的に行い、ヒヤリハットの記録を徹底し事故防止やサービス改善につなげ、改善課題に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義を理解し、各ユニット間で評価に前向きに取り組む評価の結果を踏まえて、改善に向けて検討を重ねている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は定期的で開催されている。行政職員、民生委員、利用者家族等の参加を得てホームの取り組み内容や外部評価の報告等されている。感染症に対する意見等出されている。意見や要望を受けサービスの質の向上に活かしている。
重点項目	家族会や行事等の参加の折や、面会時に意見や要望を引き出す雰囲気づくりに心がけており、出された要望等はミーティングで話し合い運営に反映している。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域行事の夏祭りや桜祭りに参加している。婦人会の見学、高校生や職場の人の踊りや三味線、自衛隊の和太鼓、保育園児のボランティアなど多方面の人々との交流が行われている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームの役割を認識した理念を作成し日々のケアに活かしているが、地域密着型サービスの役割を考慮した理念は作られていない。		地域の中でその人らしく生活する事を支えるケアの具体的なイメージを持った理念を作成する事が求められる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を見やすいところに掲示している。新職員には理念を伝え共有しながら、日々利用者に関わり理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事の夏祭りや桜祭りに参加している。婦人会の見学、高校生や職場の人の踊りや三味線、自衛隊の和太鼓、保育園児のボランティア参加など多方面の人々との交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、評価結果を踏まえて各ユニット間で前向きに取り組み、改善に向けて検討し実践につなげている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催されている。行政職員、民生委員、利用者、家族等の参加を得てホームの取り組みや外部評価の報告等されている。感染症に対する意見等出されている。意見や要望を受けサービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事故報告や利用者の身近状況等担当者に相談しながら協力関係を築いている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年4回のホーム便りの配布と家族会や来訪時に日々の暮らしぶりや行事等の報告をしている。遠方の家族には文書により報告している。また、公民館で家族等との食事会も計画している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や行事等の参加の折や面会時に意見や要望を引き出す雰囲気作りに心がけており、出された要望等はミーティングで話し合い運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員はユニット毎にケアに努めコミュニケーションを取るよう心がけている。異動時にはダメージを受けないように十分な配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム、連絡協議会やセミナー、勉強会に参加している。研修情報を掲示し参加できるように支援している。また、資格取得を目指している職員もいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームで行われる勉強会に参加したり協議会の折に交流や見学等をしている。また認知症経営者連絡協議会(大隅地区)にも加入し、交流が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望時には病院や問い合わせ先へ面会に行き生活歴の把握に努めている。また、見学や体験入所を試み馴染みながら信頼関係作りに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑仕事、野菜の苗植え、手入れ、ちまき作り(季節行事の食べ物の作り方)等教わったり、友達との交流を嬉しそうにしている利用者の笑顔に職員は元気をもらいながら日々を共にしている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で一人ひとりの表情や行動を観察して排泄サインや思いのサイン等を把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族会や来訪時に家族等と話し合いケア会議を行い職員などの意見を活かした本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一回の見直しをしている。状態変化の際にはその都度ケア会議を開き、見直しを行い、スタッフ間で統一したケアを目指している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族等の状況に応じて病院受診や墓参り、個々の要望にそった外出の支援等柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族や本人の希望するかかりつけ医への受診の支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する家族等の意見や医師との話し合いは行っているがはっきりとした指針は定められていない。		終末期についての対応指針を定め、支援につなげていく取り組みを期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の個人情報に関する誓約書もあり排泄介助など本人に書いて知らせたり小声で知らせるなどして、利用者の尊厳を大切にしゆったりとした態度で接している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、睡眠、入浴、レクリエーションなど一人ひとりの体調に合わせて、利用者のペースで生活できるように努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好や希望を聞いて献立を作成している。下ごしらえなどできる事をしてもらいながら職員も一緒に食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日はユニット毎に決められているがそれぞれ隔日おきに決められており一人ひとりの入浴希望に応えられるように支援している。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の趣味やできる事を把握し畑仕事、ぬり絵やはり絵、犬の世話や散歩、実家訪問など得意な事に力を発揮してもらったり、気ばらしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的には散歩、買い物、畑仕事、犬の世話、テラスで過ごす等している。外食やドライブなど車椅子の利用者も外出できるように心掛けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者、職員は勉強会をして鍵をかけない重要性を認識している。常に職員は見守りに集中したケアを心がけている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練をしている。また、夜間想定 of 災害訓練を職員寮の協力により行っている。災害時のマニュアルや備蓄もされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事摂取量や水分量をチェックして把握している。身体状況に応じてキザミやトロミにするなど個別の対応もしている。		栄養バランスやカロリーの把握のために時々献立表を栄養士等にアドバイスしてもらおうことが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は暖かみのある木目調でできており明るく、壁には利用者と一緒に作った行事毎のぬり絵やはり絵の飾り付けがありTVや音楽、ソファの配置など配慮が行き届いて、居心地良く過ごせる共用空間作りになっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	衣装ケースや写真、時計、ソファ、押入れを利用して洋服がけにするなど馴染みの物品が持ち込まれて個性的な居室づくりになっている。		